

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

| | | | |
|-------------|--|---------------------------|-------|
| ■事業の担当課 | 農林部農業振興課 | ■担当係 | 園芸畜産係 |
| ■評価事業名称 | 畜産経営安定対策事業費補助金 | | |
| ■事業開始年度 | | | |
| ■評価事業コード | 050200 - 180 | ■会計区分 | 一般会計 |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり | |
| | ■基本施策 | 03 魅力ある農林業の振興 | |
| | ■施策 | 01 農業の生産性向上 | |
| ■事業の類型 | 06 負担金・補助金(任意・ソフト事業) | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | |
| ■法令等の名称 | | | |
| ■関連計画の名称 | | | |
| ■事業の目的と概要 | 肉用牛生産者及び肉豚生産者の経営安定と計画的な生産を図るもの。肉用牛及び豚の販売価格下落時の生産費との価格差補填事業 | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 令和1年度事業計画 | 令和1年度事業量実績 |
|--------|-------------------|---------|--|--|
| 01 | 肉豚経営安定対策事業費補助金 | 養豚農家 | 予算額 2,253,700円(45,074頭×50円) | 肉豚経営安定対策事業費2,233,700円(44,674頭) |
| 02 | 肉用牛肥育経営安定対策事業費補助金 | 肉用牛肥育農家 | 予算額 687,500円 和牛375頭×750円 交雑250頭×1,625円 | 実績(4月～12月) 866,250円 内訳 黒毛和種(JA)207,750円 黒毛和種(配飼協)84,750円 交雑種(JA)573,750円 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和1年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|-------|----|
| 直接事業費 | 3,989 | 3,988 | 3,508 | 3,109 | |
| 人件費 | 150 | 76 | 461 | 1,677 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 4,139 | 4,064 | 3,969 | 4,786 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 1年度 | 指標の説明 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------------------|
| 01 | 肉豚対象頭数 | 45,835頭 | 45,835頭 | 45,226頭 | 44,674頭 | 国から補てんを受けるための農家の豚登録頭数 |
| 02 | 肉用牛対象頭数 | | | | 660頭 | 国から補てんを受けるための農家の牛登録頭数 |

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

生産者が積み立てる基金の負担分に対して、一部補助を行った。

問題点・課題等

なし

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

養豚農家及び肉用牛肥育農家の経営安定と計画的な生産を図るため、今後も事業継続が必要

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了